

広島市報号外第5号

財 政 事 情

平成26年度下半期

広 島 市

公 告

平成 27 年 5 月 29 日

平成 27 年度の予算の状況と、平成 26 年度下半期の財政の状況を次のように公表します。

広島市長 松井 一實

目 次

I 平成 27 年度の予算の状況

- 1 予算の内訳
 - (1) 予算規模
 - (2) 予算規模の推移（一般会計）の比較
 - (3) 一般会計<歳入>
 - ① 歳入の内訳
 - ② 市税の内訳
 - (4) 一般会計<歳出>
 - ① 歳出〔目的別〕の内訳
 - ② 歳出〔性質別〕の内訳
- 2 市民一人当たりの金額
- 3 主な新規事業の概要
- 4 企業会計の予算

II 平成 26 年度の財政状況

- 1 予算の執行状況
 - (1) 一般会計
 - (2) 特別会計
- 2 市有財産の状況
- 3 市債及び一時借入金（一般会計及び特別会計）の状況
 - (1) 市債
 - (2) 市債現在高の推移
 - (3) 一時借入金

I 平成27年度の予算の状況

平成27年度予算は、4月に市長選挙が実施されることから、義務的経費や継続事業に係る経費を中心とした骨格予算として編成しました。

したがって、新規事業については、当初予算に盛り込むことが必要不可欠なものに限って計上しています。

<当初予算に計上した経費>

- ◎ 義務的経費（人件費、扶助費、公債費）
- ◎ 施設の管理運営費、維持補修費
- ◎ その他継続事業に係る経費
- ◎ 次の新規事業に係る経費
 - ・ 被爆70周年記念事業として取り組む新規事業に係る経費
 - ・ 平成26年8月20日豪雨災害からの復興等に必要の新規事業に係る経費
 - ・ 国の制度改正に伴い実施する新規事業や、県と連携して取り組む新規事業に係る経費
 - ・ 民間老人福祉施設等職員給与改善費補助の廃止に合わせ、介護・障害福祉分野の喫緊の課題に対応するための新規事業に係る経費

なお、骨格予算にもかかわらず、一般会計の予算規模は、前年度当初予算より+212億円、+3.6%の増となっています。

その主な要因は、

- ① 広島駅南口B・Cブロック市街地再開発、広島駅自由通路整備等の広島駅周辺地区のまちづくりが本格化すること（平成27年度予算額120億円、+58億円の増）
- ② 市民の安全・安心を確保するための学校校舎の耐震化・空調設備整備（同137億円、+54億円の増）及び消防救急デジタル無線の整備（同35億円、皆増）がピークを迎えること
- ③ 平成26年8月20日豪雨災害に係る復旧・復興関連経費（同64億円、皆増）を計上したこと
- ④ 義務的経費である公債費及び人件費が増加していること（公債費+64億円の増、人件費+33億円の増）

等によるものです。

1 予算の内訳

(1) 予算規模

全会計	1兆1,820億7,795万円	(対前年度当初予算	3.2%)
一般会計	6,067億3,901万7千円	(対前年度当初予算	3.6%)

会 計 名	平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	差引増減	増減率
	兆 億 万 千円	兆 億 万 千円	億 万 千円	%
一 般 会 計	606739017	585580751	21158266	3.6
特 別 会 計	426156467	407240529	18915938	4.6
住 宅 資 金 貸 付	11886	8808	3078	34.9
母子父子寡婦福祉資金貸付	698036	733825	△35789	△4.9
物 品 調 達	53206	60290	△7084	△11.7
公 債 管 理	153350348	152542343	808005	0.5
広 島 市 民 球 場	936574	1006527	△69953	△6.9
用 地 先 行 取 得	12356	30547	△18191	△59.6
西 風 新 都	1061469	588172	473297	80.5
後 期 高 齢 者 医 療	12156177	11777778	378399	3.2
介 護 保 険	85389620	84202448	1187172	1.4
国 民 健 康 保 険	144872291	129039135	15833156	12.3
競 輪	12741851	13256368	△514517	△3.9
中 央 卸 売 市 場	3628641	3553340	75301	2.1
国民宿舎湯来ロッジ等	69172	66928	2244	3.4
駐 車 場	618975	475412	143563	30.2
開 発	3286381	1725835	1560546	90.4
市立病院機構資金貸付	7265750	8171691	△905941	△11.1
元 宇 品 町 財 産 区	3042	390	2652	680.0
三 入 財 産 区	340	340		0.0
砂 谷 財 産 区	352	352		0.0
企 業 会 計	149182466	152876271	△3693805	△2.4
水 道	39073902	46740353	△7666451	△16.4
下 水 道	107771799	103895373	3876426	3.7
安 芸 市 民 病 院	2336765	2240545	96220	4.3
合 計	1182077950	1145697551	36380399	3.2

- ・ 一般会計の当初予算規模は、前年度当初予算と比べると 3.6%の増で、2年連続してプラス予算となりました。
(H26年度2.8%、H25年度△3.2%、H24年度△3.3%、H23年度2.8%、H22年度7.3%)
- ・ 特別会計については、国民健康保険事業特別会計が 158 億円の大増となることなどにより、前年度当初予算と比べると 4.6%の増となりました。国民健康保険事業特別会計の増加は、平成 24 年度の法改正に伴い県内市町が保険財政の共同安定化のため県国保連へ拠出する負担金が 164 億円増加すること等によるものです。
- ・ 企業会計については、水道事業会計の減などにより、前年度当初予算と比べると 2.4%の減となりました。
- ・ 全会計の予算規模は、前年度当初予算と比べると 3.2%の増で、4年ぶりに増となりました。
(H26年度△0.1%、H25年度△0.8%、H24年度△0.8%、H23年度1.6%、H22年度0.9%)

●参考メモ●

平成 27 年度末の一般会計市債残高見込み 1 兆 1,114 億 503 万 3 千円
(一般会計当初予算額の約 1.8 倍)

平成 27 年度末の基金残高見込み

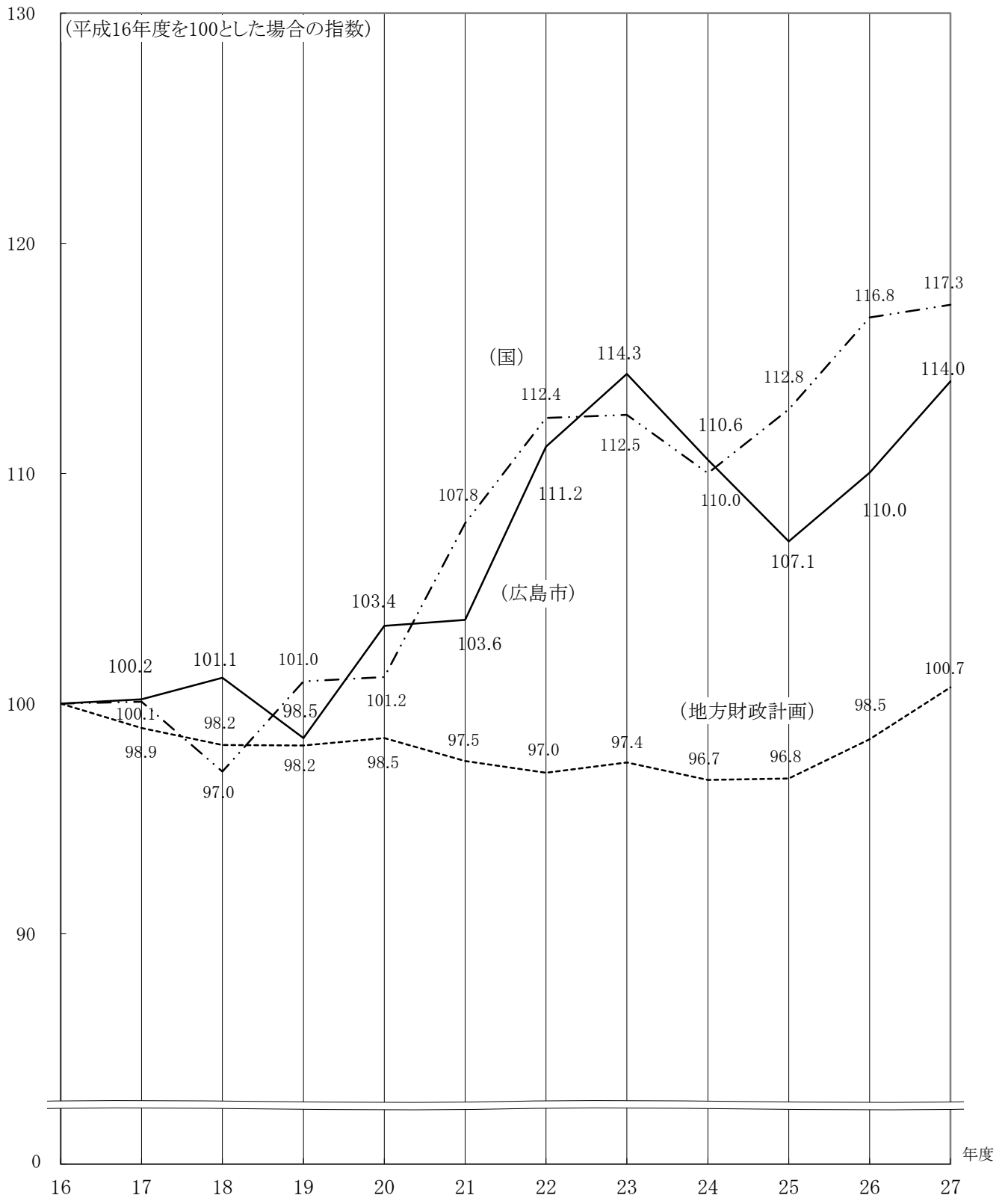
財政調整基金	69 億 3,783 万 8 千円 (うち 27 年度予算積立額 1,200 万円)
都市整備事業基金	96 万 8 千円 (うち 27 年度予算積立額 2 千円)
合計	69 億 3,880 万 6 千円 (うち 27 年度予算積立額 1,200 万 2 千円)

※ ピーク時(平成 2 年度)は 530 億 6,567 万 1 千円

用語解説

- ・ 一般会計…………… 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上する会計
- ・ 特別会計…………… 地方公共団体が特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合で一般会計と区分して経理する必要がある場合、条例等により設置することができる会計
- ・ 企業会計…………… 独立採算を原則とした企業的な特別会計で、地方公営企業法の適用を受ける会計
- ・ 市債(地方債) …… 建設事業等の財源を調達するため借り入れる資金で、償還が 2 年度以上にわたるもの

(2) 予算規模の推移（一般会計）の比較



※ 地方財政計画 … 国において作成される「翌年度の地方団体の歳入・歳出の総額の見込み」に関する調書